

福岡市民文化活動功労賞功績調書

*部 門		地域に根ざした文化活動	
氏名		生年（歳）	
なかむら たかのり 中村 高德		昭和20年（80歳）	
職 業	看板画家		
<p>福岡市早良区在住。17歳で、福岡市内で映画の看板を請け負っていた、高木画房の故・高木寿夫氏に師事。</p> <p>28歳で独立し、ナカムラ看板を開業。以後、福岡市内の映画館の絵看板を手がけ、現在まで手がけた映画の看板の数は1,000点以上にのぼる。</p> <p>令和7年5月、博多座『屋根の上のヴァイオリン弾き』では、懐かしくも温かみのある手描きの手法を通して作品の世界観を伝え、出演者や観客から多くの賛辞を集めた。長年にわたり、天神、中洲の映画文化に寄与し、現在は、地元の公民館サークルで、市民を対象に水彩画の指導を行うなど、地域文化の発展に貢献している。</p>			